

フットサルU-15チーム・チーム関係者・指導者各位

山形県サッカー協会審判委員会 フットサル・ビーチサッカー部長 山口雄二

各位に置かれましては日頃よりフットサル競技に際しご協力、ご理解いただき誠に感謝申し上げます。さて、今年3月29日付けの通達において、一部U-15の競技規則の改定が行われました。そこで、東北のフットサル審判責任者からの回答をもとに私自身理解し関係各位に指導説明してまいりました。先に開催されました(U-15女子・男子県大会 山形地区バーモント大会)大会のも同様の説明をしてまいりましたが条文(2010.3.29 15歳以下のフットサル競技会における競技規則の適用について)の内容に疑問点が生じるとの声があり山形県フットサル審判部事務局長の奥山よりJFAに直接問い合わせを行いました。回答を下記に記載いたします。関係各位には大変ご迷惑をお掛けしました事、ここに謹んでお詫び申し上げます。今後のU-15のフットサル大会においては下記のとおりになりますのでご承知の程宜しくお願い致します。

不明な点が生じた場合はご連絡宜しくお願い致します。

松崎JFA審判委員長よりの回答(電話回答を文書化にしました)

3種以下の適用でインプレー中ゴールキーパーがボールを手でプレーしたものに加へ足でプレーしたものが追加されただけの為、ゴールキーパーがキックしたボールがノーバウンド(直接)で相手エリアに入る事は罰則になるが、誰にも触れず自陣エリア内でバウンドしたものが相手陣内に入る事は罰則にならない。その為、自陣でキックしたボールが自陣でバウンドしゴロでシュートした場合は何の罰則にならない。又ドロップキックが誰にも触れず自陣エリアでバウンドして相手陣内に入った場合も何の罰則が無い。

(足のプレーの加えただけで何も変わっていないと強調されていました)

よって以下のように要点を箇条書きにいたします。

◎ゴールキーパーがインプレー中の手でのボールの扱いは従来と変わりません。

◎ゴールキーパーがインプレー中の足でのボールの扱いは

- ・手からボールを離した後蹴った。(4秒以内) そのボールが一度自軍のピッチに触れ相手ピッチに入った。
- ・ゴールキーパーが自軍より直接グライダー(ゴロ)でシュートした。
- ・ゴールキーパーがドロップキックしたボールが一度自軍のピッチに触れ相手ピッチに入った。

罰則なし

- ・手からボールを離し蹴った。(4秒以内) そのボールが誰にも触れず直接(ノーバウンド)相手ピッチに入った。
- ・ゴールキーパーが自軍より直接シュートした。(ノーバウンドで相手ピッチに入った)
- ・ゴールキーパーがパントキック・ドロップキックしたボールが誰にも触れず直接(ノーバウンド)相手ピッチに入った。

任意の地点より相手チームの間接フリーキックにて再開